**経営所得安定対策情報管理システム**

**申請書入力システム**

**使途設定マスタの作成手順**

1. **使途設定マスタの作成手順**

取込を行う使途設定マスタは、地域協議会ごとに異なるので、以下の使途設定マスタの作成手順に従い、地域センターと相談のうえ、地域協議会にて使途設定マスタを作成してください。

* 1. サンプルに従い、Excelで各地域協議会の使途設定マスタを作成する

使途設定マスタ〔サンプル〕



【１列目（ナンバー）】

・連番を振ってください。

【２列目（使途設定）】

・使途の対象とするものに「１」を入力してください。

【３列目（使途整理番号）】

・1～30の任意の数値で使途整理番号を入力してください。

【４列目（枝番コード）】

・1～99の任意の数値で枝番コードを入力してください。

【５列目（作期等）】

・１：基幹作、２：二毛作、３：耕畜連携（基幹作）、４：耕畜連携（二毛作）の

どれかを入力してください。

畑地化を対象とする使途の場合は、空欄としてください。

【６列目（使途名称）】

・使途の判別可能な名称を入力してください。

【７列目（数量払）】

・数量払の対象となるものに「１」を入力してください。

【８列目（助成単価（計画））】

・計画段階での助成単価を入力してください。ただし、７列目の数量払に「１」が入力されている場合は入力しないでください。

【９列目（助成単価（調整））】

・調整後の助成単価を入力してください。ただし、７列目の数量払に「１」が入力されている場合は入力しないでください。

【１０列目（産地資金交付予定）】

・１回目の交付対象の使途には「１」を２回目の交付対象の使途には「２」を

３回目の交付対象の使途には「３」を入力してください。

【１１列目（取組の種類）】

・以下のア～カのどれかを入力してください。

ア：多収品種の導入への取組

イ：加工用米の複数年契約の取組

ウ：備蓄米の取組

エ：そば、なたね（基幹作）の作付け

オ：そば、なたね（二毛作）の作付け

カ：主食用米作付面積が生産数量目標の面積換算値を下回ることとなる都道府県に対して、当該生産数量目標の面積換算値より下回った面積に応じた配分

（注１）異なる使途整理番号の使途は重複して設定可能ですが、同一の使途整理番号、且つ、同一の枝番コードを持つ使途は設定することができません。

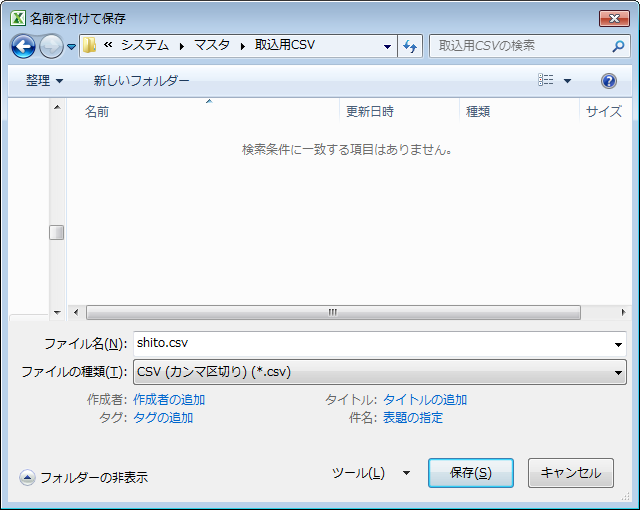
（注２）二毛作を対象とする使途は、二毛作への助成部分をほかの設定と分けて記入し、使途の名称に「○○○（二毛作）」と記述してください。

（注３）助成対象登録情報は、同一の「耕地番号」＋「分筆番号」＋「作期」内では１種類の「使途整理番号」までしか利用できない仕様となっていますので、同一の使途整理番号で枝番を変えるだけでは取込及びデータ登録を行うことはできません。  
助成対象登録情報で同一の耕地に複数の使途設定を行う場合は、使途設定マスタで使途整理番号を分ける必要があります。

* 1. １行目の行を削除し、「shito.csv」という名称でファイルを保存する。

1行目のヘッダー行を削除し、「名前を付けて保存」の際に、ファイルの種類で「CSV」を選択して保存してください。ファイルの名称を間違えないようにご注意ください。（ファイル名が間違っていると、申請書入力システムに取込むことができません。）

* 行を削除し保存する際、『CSV（カンマ区切り）と互換性のない機能が含まれている可能性があります。この形式でブックを保存しますか？』というメッセージが表示される場合があります。問題ありませんので「はい」を選択し、保存してください。



* 保存したCSVファイルは直接修正しないでください。CSVファイルをExcelで開いて修正すると、データが壊れる可能性がありますので、極力、CSVファイルの直接加工は行なわないでください。やむを得ずCSVファイルを直接修正する場合は、CSV編集ツール（CSVファイル変換ツール\_ver1.0.xlsm）を利用して修正してください。
* CSV編集ツール（CSVファイル変換ツール\_ver1.0.xlsm）は、Excel2007には対応しておりません。Excel2007は、ご使用なさらないでください。
  1. 都道府県と地域協議会の両者で産地交付金使途設定している場合の様式第１１－３号及び様式第１１－１５号別紙の作成について

都道府県と地域協議会の両者で産地交付金の使途設定している場合、地域協議会は、

予め、自ら設定した使途に追加して、都道府県で設計した使途を申請書入力システムに

登録してください。詳細については別紙23を参照して下さい。